

長崎県社会保障推進協議会

発行責任者:川尻瑠美

〒850-0056 長崎市恵美須町 2-3-2F 長崎県保険医協会気付

TEL 095-825-3829/FAX 095-825-3893

Eメール nagasaki-hok@doc-net.or.jp

2024 自治体キャラバンの注目は、今年も「子ども医療費」

厚生労働省が子ども医療費無償化に歯止めをかけ 窓口負担復活を促す通知を发出

厚労省が子ども医療費無償化にストップ？

子ども医療費助成の窓口負担の在り方に応じて国民健康保険にペナルティーを課す「国庫負担減額措置」を国は今年4月に廃止しました。長崎市における小中学生の窓口現物給付によるペナルティー額は年4～5千万円にのぼります。自治体は窓口負担の現物給付化や無償化への障壁がなくなり、無償化に取り組みやすい条件が生まれていました。

そういう中で、6月26日に厚労省は「令和7年度保険者努力支援制度（取組評価分）の市町村分について」という通知を发出。ここで、こどもの医療の適正化等の取組（令和6年度の実施状況を評価）として、①地方単独事業として実施しているこどもの医療費助成制度について、年齢にかかわらず、外来で医療機関を受診する際、窓口での支払いが必要な制度としている場合（外来医療費を無償化せず自己負担を設けている場合など）50点、②地方単独事業として実施しているこどもの医療費助成制度について、外来で医療機関を受診する際、窓口での支払いが不要な制度から窓口での支払が必要な制度に、令和6年度に変更した場合（医療費助成の対象となる年齢層のうち一部の年齢層の制度変更を含む）20点、などの高い配点評価を定めました。

これはまさに、子ども医療費助成のペナルティーを新たな措置で復活させる以外のなにものでもありません。

中央社保協や新婦人などいち早く抗議、要請に取り組んでいますが、県内の現物給付化に歯止めがかからないよう、自治体キャラバンでは市町の動向を把握するようにしましょう。



自治体キャラバン事前検討会ご案内

日時：2024年9月24日(火)19:00～20:45

場所：長崎県保険医協会 8F(長崎市恵美須町 2-3)

対面のみです。後日、検討会の内容は動画で共有します。多くの皆様のご参加をお願いします。

●9.26 いのちまもる総行動と 9.25 いのちまもる鉄橋行動のお知らせ●



毎年秋に日比谷野外音楽堂で行われている「いのちまもる総行動」は今年も9月26日に行われます。今年もオンラインで配信されますので、ぜひリアルタイムで視聴しましょう。長崎では呼応した取り組みとして「いのちまもる鉄橋行動」を9月25日に

行います。医療や介護の現場からの声をはじめ、様々な職種の方がスピーチします。現場の声を聞いて、そしていま何が必要かいっしょに考えましょう。ぜひ、ご参加ください。

日時：9月25日(水)14:00～14:45

場所：長崎市鉄橋（浜の町アーケード入口）



日時：9月25日(水)14:00～14:45

場所：長崎市鉄橋(浜の町アーケード入口)

終了後短時間のパレードを行います。ぜひ最後までお付き合いください

長崎市へ

コロナ第11波から地域住民のいのちをまもり 医療機関の経営をまもるための要請

長崎民医連

8月2日、新型コロナの新しい変異株が確認され、長崎県内でも感染が広がり、病院のクラスターも報告されていることを受け、長崎民医連は長崎市へ「コロナ第11波から地域住民のいのちをまもり医療機関の経営をまもるための要請」を行いました。コロナ「治療薬」処方患者窓口負担は右表のとおり5日分で数万円となり、感染しても「患者になれない」実態があります。また、医療機関ではひとたびクラスターが発生すると、新入院をストップさせるなどを余儀なくされ、経営への影響が大きく生じます。検査や投薬が入院料に包括されている病棟では、検査はしても検査料が算定できないなど「持ち出し」が生じ、経営を圧迫します。保険薬局においては、コロナ治療薬の仕入れ価格が約90%であり、消費税を入れるとほとんど薬価差益もないという状況です。申し入れに対し、長崎市から市民健康部感染症対策室が対応され、懇談することができました。今回の要請については、長崎市単独で対応できるものではもちろんなく、長崎県とも協力して、国へ要望するなどしてほしいということも求めました。

新型コロナウイルス感染症 治療薬自己負担めやす ※5日分処方の場合

	ゾコーバ	ラゲブリオ	パキロピッド
薬価	約52,000円	約94,000円	約99,000円
1割負担	約5,200円	約9,400円	約9,900円
2割負担	約10,300円	約18,800円	約19,800円
3割負担	約15,500円	約28,200円	約29,700円



回答は8月末に届き、ほぼゼロ回答でしたが、懇談の中で「現場のことを知らせてもらうのはありがたい」との長崎市側のコメントもあり、このような取り組みが決して無駄ではないということを実感しました。今後もことあるごとにこのような機会をつくり、知らせ、そして変えていく活動を重視していきます。

長崎県社会保障推進協議会定期総会のお知らせ



日時：2024年9月21日(土) 14:00～14:45 定期総会
15:00～16:30 記念講演

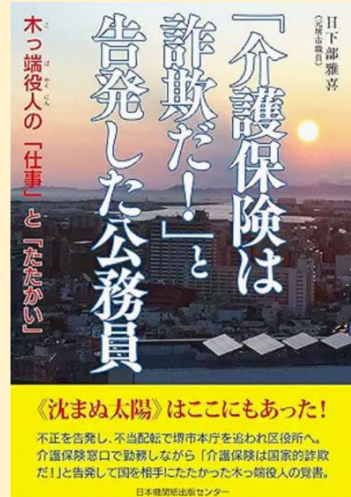
場所：長崎市民会館 1F 大会議室（長崎市魚の町5-1）

記念講演 **介護保険制度**
—改悪の現状と地域の運動課題—

講師 **日下部 雅喜 氏**

大阪社会保障推進協議会介護保険対策委員長
介護保険料に怒る一揆の会事務局長
ケアマネジャー

大阪・堺市役所で36年間福祉行政に従事したのち、ケアマネジャーとして勤務。大阪社会保障推進協議会介護保険対策委員長として介護制度改革問題に取り組みられています。介護保険に関する著書も多数。



《沈まぬ太陽》はここにもあった！

不正を告発し、不当配転で堺市本庁を退かれ区役所へ。介護保険窓口で勤務しながら「介護保険は国家的詐欺だ！」と告発して国を相手にたたかった木っ端役人の覚書。

日本機関出版センター